

海舟・万次郎・龍馬

龍馬は、日本人として生きた男である。

命がけて日本を洗濯しようとした男は、

新しい時代の足音が聞こえ始めた矢先、フツと消えてしまった。

どこへ消えたのか。誰も知らない。

ただ、海から吹きわたる風に今も龍馬を感じることがある。

——龍馬は風になった。

龍馬は風になって、今も見果てぬ夢を追い求めている。

龍馬が求め続けるものは、「自由」「平等」そして「平和」。

海でつながる勝海舟、ジョン万次郎、龍馬の三人を盟友とし、

彼らからのメッセージをお伝えする。

海でつながる男たち——『時代の不思議』

今から百五十余年前の、嘉永六年（1853）六月三日。

四隻の黒船が日本に開国を迫った。

太平の眠りがたたき起こされたその日、三人の男たちの運命もまた大きく動き始めた。

蘭学の徒から幕臣への道を進む勝海舟（31）、

漂流民から旗本になったジョン万次郎（27）、

土佐から江戸に来たばかりの坂本龍馬（19）。

幕末という時代に遭遇し、運命を変えていった三人の男たち。

生まれも育ちもまったく違う三人を、時代が巡り合せた。

龍馬脱藩後の五年という短い時間を軸に、

寸分違わず出会った三人の奇跡。巡りあった時代の不思議を追求する。

彼らが信念としたものは何か。自由と平等を希求した彼らの声とは何か。

風を追う。

『風になった龍馬展』・勝海舟ジョン万次郎・龍馬は、

本年から開館20周年にあたる2011年に向けて三年連続で開催。

三人のメッセージを発信していきます。

関連イベント

シンポジウム VOL.1 子孫は語る

『時代の不思議』～同じ夢に結ばれて～

2009年10月31日（土）13:00～15:30

会場／三翠園ホテル 高知市鷹匠町1-3-35

パネリスト 勝海舟子孫 高山みな子さん・

中濱万次郎5代目 中濱京さん・郷土坂本家

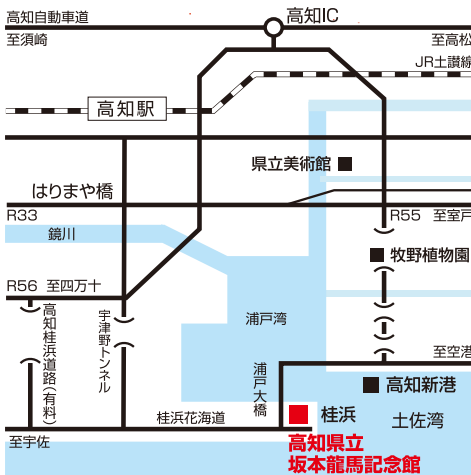
9代目 坂本登さん・当館館長

◇西村直記さんのシンセサイザー・ミニコンサートもあります。

風になった龍馬展・次回予告

2010年秋 VOL.2『時代の力』

2011年秋 VOL.3『時代は未来へ』



- JR高知駅から高知県交通バス「桂浜」行、「龍馬記念館前」下車徒歩1分
- 高知駅発着で龍馬記念館などをめぐるルート。バス「MY遊バス」（一日乗り放題）もお得です。土日祝日（11月から毎日）運行 ■ 車・タクシー利用の場合、JR高知駅から約35分、高知空港から約25分、高知インターから約25分

高知県立坂本龍馬記念館
781-0262 高知市浦戸城山830
てんわ088・841・0001 <http://www.ryoma-kinenkan.jp/>

助成 日本財団
The Nippon Foundation

この企画展は、競艇の交付金による日本財団の助成を受けて実施します

